

2022年度第2期

主要5分野研修会

一般社団法人 公認心理師の会®

Japanese Society of Certified Public Psychologist

WEB開催
公認心理師以外の方も歓迎！

WS8 産業・労働・地域保健部会ワークショップ

『職場復帰支援：産業の立場から』

講師：西埜植 規秀（にしのうち産業医事務所） 田上 明日香（SOMPOヘルスサポート）

ライブ配信（A方式）：2022年12月18日（日）13:00～16:00 参加応募〆切 12月15日（木）

録画配信（B方式）：2022年12月26日（月）～3月26日（日） 参加応募〆切 3月16日（木）

WS9 倫理・職責・関連法規部会ワークショップ

『スクールカウンセラーが協働する自殺予防教育』

講師：本田 真大（北海道教育大学）

ライブ配信（A方式）：2023年1月7日（土）13:00～16:00 参加応募〆切 1月4日（水）

録画配信（B方式）：2023年1月21日（土）～4月21日（金） 参加応募〆切 4月11日（火）

WS10 医療部会ワークショップ

『日常の臨床実践で明日から使おう！シングルケースデザイン入門』

講師：柳澤 博紀（犬山病院心理室 主任公認心理師）

ライブ配信（A方式）：2023年1月29日（日）13:00～16:00 参加応募〆切 1月26日（木）

録画配信（B方式）：2023年2月12日（日）～5月12日（金） 参加応募〆切 5月2日（火）

WS11 教育・特別支援部会ワークショップ

『学校・教育領域におけるソーシャルスキルトレーニングの理論と実際』

講師 榎本 拓哉（徳島大学） 石塚 祐香（作新学院大学）

ライブ配信（A方式）：2023年3月5日（日）9:30～12:30 参加応募〆切 3月2日（木）

録画配信（B方式）：2023年3月19日（日）～6月19日（月） 参加応募〆切 6月9日（金）

参加方法

*ライブ配信（A方式）

- 登録者にはZoom URLを配布
- 質疑応答が可能
- B方式も含みます

*録画配信(B方式)

- 3か月間繰り返し視聴可能

*参加費：会員4,000円 非会員6,000円

*1ワークショップにつき

公認心理師の会 Webサイト「研修会」ページよりお申込みください。

<https://cpp-network.com/workshop/>

研修会についてのお問い合わせ先：（株）ヒューマン・リサーチ human_2@abox3.so-net.ne.jp



■ **WS8 「職場復帰支援：産業の立場から」** 西埜植 規秀（にしのうえ産業医事務所） 田上 明日香（SOMPOヘルスサポート）

職場復帰支援シリーズ企画の後編（前編：WS4 労働者支援（リワーク、職場復帰）を考えるー医療の立場からー）。前編の医療の立場からのご講演を受けて、従業員の職場復帰を産業領域ではどのような視点を重視しながら対応していくのかといったポイントを整理する。前編に続き、医師（産業医）と心理職のそれぞれの立場で、職場復帰支援において、関係者間のスムーズな役割分担と連携を行うために、領域を超えた連携や、産業領域内での多職種連携の実際についてもふれる。また、事例を通じて産業領域で重視される事例性の考え方や、会社の安全配慮義務と個人情報保護の保護を踏まえた対応など、現場で難しさを感じるテーマについて、参加いただく先生のコメントなどもいただきながら理解を深めていく。

想定する対象者 働く人の職場復帰に関わることのある心理職の方（領域横断） 産業領域の実務で職場復帰支援に携わっている方
産業領域で心理職として働くことを目指している方

■ **WS9 「スクールカウンセラーが協働する自殺予防教育」** 本田 真大（北海道教育大学）

現在の学校には「sosの出し方に関する教育」を含む自殺予防教育の実施が求められており、公認心理師等のスクールカウンセラーが勤務する学校の教師から意見を求められることもあるでしょう。講師自身は自殺予防を専門とする研究者ではありませんが、スクールカウンセラーとして勤務する中でその役割を期待され、教育委員会と協働しながら北海道で活動しています。本ワークショップは講義形式で実施する予定です。自殺予防教育の実施に最低限必要な知識として、自殺予防教育が求められる背景と学校教育における位置づけ、プログラム、実施に当たっての学校内外の体制づくり（家庭・学校・地域の連携）について解説し、スクールカウンセラーがどの時点でどのように学校と協働できるかを考えます。さらに発展的な話題として、自殺予防教育の介入効果の評価に関する議論と、悩みを相談する心理である「援助要請（help-seeking）」の研究知見から見た「sosの出し方に関する教育」の特徴と課題について考えます。

想定する対象者 スクールカウンセラー，教師，教育委員会の指導主事など

■ **WS10 「日常の臨床実践で明日から使おう！シングルケースデザイン入門」**

柳澤 博紀（犬山病院心理室 主任公認心理師）

皆様の中に“なぜ日常臨床にシングルケースデザインを用いる必要があるのか？”という問いが生まれているなら、私からの第一の答えは「シングルケースデザインによって対象者さんのお役に立てる心理実践の可能性が高まるから」になります。タイトルを一見して「研究法の話かな？自分には関係ないかな？」と思った方は誤解しています。今回の話は研究法の話ではなく心理支援を「評価する方法」だと捉えてください。そのため、本研修では日常臨床で使えるシングルケースデザインの知識と、実際の日常臨床での用い方を詳しくレクチャーしていきます。シングルケースデザインによる視点を身に着けることで、自らの実施している心理支援（介入）が本当に対象者に役立てているのか（有効性）を評価する視点が得られます。それは、まさにエビデンスに基づく心理実践の基礎であり必須スキルであるべきものだとは私は考えています。ぜひ当ワークショップを受講していただき、日々の臨床の中で無理なくエビデンスに基づく実践ができるスキルを身に付けていきましょう。

想定する対象者 初心者向け

■ **WS11 「学校・教育領域におけるソーシャルスキルトレーニングの理論と実際」**

榎本 拓哉（徳島大学）・石塚 祐香（作新学院大学）

ソーシャルスキルトレーニング（SST）は、学校教育や発達臨床の現場に深く浸透している支援技法の一つであり、現在では、幼児期から児童期・青年期までの様々な年齢層・発達段階を対象として実践されています。また、学級経営，生徒指導，教育相談，特別支援教育などの多様な課題対応の視点に基づいた活用がなされてもいます。そこで、今日の学校・教育領域におけるSSTの取り組みを網羅的に理解し、幼児・児童・生徒の良好な人間関係を築き、QOLを高めることを目的としたSSTの「目標とする行動（スキル）とは何か」，「どのような実施形態での展開が可能か」といった2点を踏まえつつ，発達段階を横断したSSTのより良い運用方法や設定を，参加者と共に協議・検討したい。

想定する対象者 幼稚園・保育所・小学校・中学校の先生方，スクールカウンセラー，教育センター等の相談員など教育・特別支援教育領域での業務に携わる方々

各ワークショップの講師紹介は Webサイト「研修会」ページをご覧ください。

<https://cpp-network.com/workshop/>

【参加に関する注意事項】

- どなたでも参加いただけます。公認心理師以外の方も歓迎します。
 - 2022 年度の会員登録が完了して年会費を支払った方のみ会員登録となります。
会員登録途中の方や、年会費未納の方は、非会員登録となります。
 - 非会員・初参加の方は、Webサイトの「非会員・初参加の方」をご覧ください。新規ユーザ登録をしていただく必要があります。
 - 先着順に受け付けます。定員に達し次第、受付を終了します。
 - お支払いいただいた参加費は返金できません。
 - 予約が完了すると、メールが届きます。
- 予約完了後、1週間経ってもメールが送られてこない場合は、（株）ヒューマン・リサーチ human_2@abox3.so-net.ne.jpにご連絡ください
- 配付資料や映像資料の録画・転送・転用は厳禁とします。
配付資料や映像資料の無断での録画・転送・転用は法律違反となります。
受付の際に、遵守事項を個別に回答していただきます。遵守事項に合意した方だけ、その後のご連絡を差し上げます。

【A方式（ライブ配信）に関する注意事項】

- 安定した電波状況のもとでご参加ください。電波状況によるトラブルには責任を負えないことをご了承ください。
- 不測の事態などで配信が途切れることなどもありえますがご了承ください。
その場合でも、B方式（録画配信）では最初から完全版を配信しますので、最初から視聴できます。
- 対面開催に比べ、Web開催では質疑応答や演習などの効果が限られてしまうことをご了承下さい。

【B方式（録画配信）に関する注意事項】

- 動画配信URLは受講者のみにお知らせします。受講者以外への拡散は厳に禁じます。
- 録画配信では質疑応答はできません。また、A方式（ライブ配信）とB方式（録画配信）では、内容が異なることがあることをご了承ください。